

平成 29 年度

College of Pharmacy, Western University of Health Sciences, USA

との国際交流

眞鍋圭、池田佳穂、渡邊あかり、酒井美紅、立松阿子
(グループ 2)

平成 30 年 2 月 12 日～26 日の 2 週間、アメリカ研修としてカリフォルニア州にある College of Pharmacy, Western University of Health Sciences (ウェスタン大学薬学部) の訪問、病院見学、薬局見学、学生間交流を行なった。その中で今回は、主に脳卒中等のリハビリ治療を行っている Casa Colina 病院について報告する。

Casa Colina 病院は広大な敷地面積を有するため、敷地内の移動のための専用車もあった。



Casa Colina 病院には、整形外科、リハビリ科などがあり、多くの方がリハビリのため来院している。また、整形外科があることから、治療からリハビリまで手厚くカバーしてもらうことも可能であった。

高圧酸素療法

入院リハビリテーションにおいては、脳損傷、脊髄損傷、脳卒中、神経疾患、創傷を含む幅広い病状のため、68 床のベッドが設けられている。高圧酸素は元々、減圧症を伴う深海のダイバーを治療するために使われたが、最近の研究により高圧

酸素療法が創傷治癒を促進し、合併症を予防するのに非常に効果的な方法であることが示され、Casa Colina 病院は様々な病気や補充ケアのため利用されている。



カンファレンスルーム

カンファレンスルームでは、毎朝 10 時～11 時に医師、看護師、薬剤師などが入院患者の状態報告および治療方針についての話し合いが行われる。



庭園

Casa Colina 病院は、お庭がたくさんあることが特徴的である。これにより、患者さんは非現実的を味わうことができ、より高いリラックス効果

を得られる。



手術室

Casa Colina 病院では、手術前と手術中と手術後、大きく3つに部屋が分けられており、これにより効率よく患者さんを運べるようになっている。手術の前後の部屋なので、最新の機器がそろっており、患者さんにとってよりよい治療ができるようになっている。



感想

日本の病院と違って、治療以外のことに力を入れていると感じられた。例えば、庭園がたくさんあったりしたことである。しかし、病院の食堂に炭酸飲料がたくさんあり驚いた。

